

大学

福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻

子育て支援

古川 洋子 准教授

健やかな成長や笑顔につながる支援とは？
問いつける姿勢を養う。

子どもを取り巻く環境が複雑化している現代、子育て支援の重要性が高まっています。保育士志望者が履修する子ども福祉専攻専門科目「子育て支援」では、事例研究や保育園の園長先生との対話、支援につながる社会資源の検討などを通して、子育ての実情や必要とされる支援などについて学びを深めます。グループワークも活発に行われ、学生はダンスや絵本の読み聞かせなどの模擬保育を実践し、子育て支援の一環としての「親子で楽しめる場づくり」に取り組みます。担当教員は、幼稚園教諭の経歴があり、2児の子育てや地域の子育て支援活動を経験した古川先生です。「子育て支援において常に心に留めておきたいのは『子どもの最善の利益』をめざすこと。子どもたちの笑顔のために何ができるのか、よりよい支援を考え続ける姿勢を大切にしてほしい」と学生に語りかけます。



愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

高等学校

愛知淑徳高等学校

国語表現

神尾 環樹 教諭

創作やグループワークなどの実践を重視し、
言葉による表現力を豊かに育む。

高校3年生・文型クラスの選択科目「国語表現」は、言葉による表現や創作を学ぶ授業です。短歌、詩、小説などの制作、グループワーク、プレゼンテーションを通して、自分の思いや意見を「言葉で伝える力」を磨きます。この日の授業は「手紙」がテーマ。身近な人に手紙を書くという課題に、生徒は真剣に取り組みました。「国語表現」を担当して約8年になる神尾先生は、生徒の主体的な学びを大切にしながら指導しています。「座学にとどまらない『実践』を重視する愛知淑徳の伝統を受け継ぎ、生徒一人ひとりがのびのびと自己表現できる場づくりに努めています。自分の思いを言葉にするさまざまな実践の積み重ねが、本当の学力を養い、自分を育てることにつながると期待しています」と神尾先生は語り、生徒たちの人間的な成長を見守っています。

